

耐震・防火改修補助金の増額は今年限り！必ずご利用ください！



ま

ち

の

たくみ  
ぷらす

耐震化！

今年こそは  
すまいの

補助  
します

工事費を

耐震・防火改修



令和8年度が最後

期間  
限定

「まちの匠・ぷらす」が1年延長

令和8年度  
申込期間

2026年4月13日(月) ▶ 2026年12月25日(金)

本格改修

最大  
200  
万円

木造住宅

屋根の軽量化など

簡易改修  
最大  
40  
万円

最初の  
いちを  
守る

京町家

土台や柱の修繕など

本格改修

最大  
300  
万円

簡易改修  
最大  
60  
万円



京都市のすまいのワンストップ総合窓口

安心すまいセンター  
MIYAKO ANSHIN SUMAI CENTER

075-744-1631

午前9時30分～午後5時 / 水曜・祝日・第3火曜 及び年末年始は休館

# 改修 工事の事例

## 補強・軽量化工事

参考 木造住宅と京町家の違い

**木** 一般的な木造住宅  
(昭和56年以前)



一般的な構造の建物。  
筋かいや金物などで  
建物を堅くし、地震に  
耐えます。

**京** 京町家 (昭和25年以前)



伝統的な構法の建物。  
柱や梁の木組みと、土  
壁の粘り強さで地震に  
耐えます。



### ▶ 屋根を軽くする工事

屋根が重いほど地震の時に建物の揺れが大きくなります。瓦の下にある土を取り除き、軽い屋根材に替えると揺れが小さくなり、建物が倒れる可能性が減ります。



### ▶ 強い壁を設置する工事

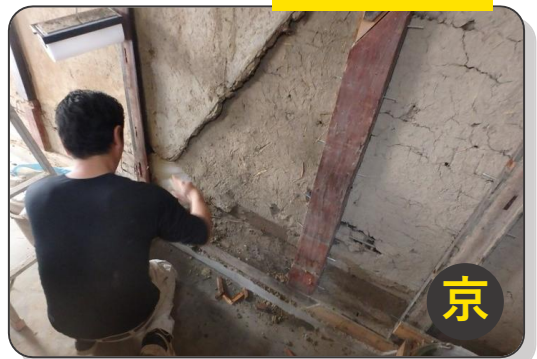
既存の壁に筋かい(柱と柱の間に取り付ける補強材)や金物、壁がない箇所にバランスよく耐力壁(地震に強い壁)を設置することで地震の時に建物の変形を小さくします。

## 劣化した箇所の修繕



### ▶ 湿気やシロアリ被害により傷んだ柱や土台を交換する工事

木材は腐ると本来の力が発揮できず、耐震性能が大きく低下します。修繕をして耐震性能を回復させましょう。



### ▶ 劣化した土壁を塗り直す工事

京町家は柱と梁、土壁の粘り強さで地震に耐えます。古い土壁を塗り直すことで本来の耐震性能を回復します。

## 耐震シェルター等



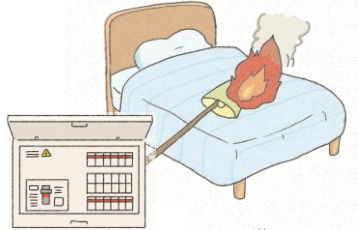
### ▶ 耐震シェルターの設置

部屋の中に頑丈なシェルター(避難空間)を設置し、建物が倒壊しても命を守る空間を作ります。

### ▶ 感震ブレーカーの設置

震度5強以上の地震を感知し、自動でブレーカーを落とすことで通電火災\*を防止します。  
\* 地震による停電後、電気が復旧した際に発生する火災

## 防火改修



事例集はこちら



# 補助対象工事と上限額



詳細はホームページ  
「申請の手引」から

- ① 補助対象工事費用の **4/5**
  - ② 補助限度額
- ▶ ①② いずれか **少ない方の額** が補助金額  
※ 本格改修は、改修前後の耐震診断が必要です

## 本格改修

- 現在の耐震基準に適合  
(構造評点1.0以上)

木造住宅 **200**万円

京町家 **300**万円

- 一定以上の耐震性能を確保  
(構造評点0.7以上1.0未満)

木造住宅 **100**万円

京町家 **150**万円

- 耐震性能が従前よりも向上  
(壁の設置や屋根の軽量化等)

木造住宅 **80**万円

京町家 **100**万円

本格改修は代理受領制度の対象です。工事費と補助金の差額をご用意いただければ、一旦全額を立て替える必要がありません。

防火・準防火  
地域のみ

防火改修  
必須

## 簡易改修

- 屋根型**
  - 屋根の軽量化
  - 構面強化

木造住宅 合計最大 **40**万円

**20**万円

京町家 合計最大 **60**万円

**30**万円

- 床型**
  - 2階床組の強化
  - 小屋組の強化

**5**万円

**10**万円

- 壁型**
  - 金物の設置 (木造住宅)
  - 土壁の修繕 (京町家)

**5**万円

**10**万円

- 足元型**
  - 土台、柱又は基礎の劣化修繕
  - 有筋の基礎の増設 (木造住宅)
  - 柱脚部の補強 (京町家)

**10**万円

**10**万円

耐震診断をして  
金額アップ!

## シェルター等

- 耐震シェルターの設置 **40**万円
- 防災ベッドの設置 **40**万円

密集市街地  
該当区域は  
こちらから



## 防火改修

木造住宅 合計最大 **40**万円  
京町家 合計最大 **60**万円

受付件数増! 密集市街地 最大 **7**万円!

- 軒裏の防火改修 **20**万円

- 感震ブレーカーの設置 **5**万円

- 開口部の防火改修 **1.5**万円/㎡

- 外壁の防火改修 **20**万円

- 長屋の界壁の防火改修 **20**万円

- 木製防火雨戸の設置 **5**万円/㎡

# 「まちの匠・ぷらす」京町家・木造住宅 耐震・防火改修支援事業

## 対象の建物

京都市内にある木造の一戸建て住宅<sup>※</sup>、長屋

※ 店舗等との併用住宅(居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のもの)を含む

## 木造住宅

昭和56年5月31日以前に着工

## 京町家

昭和25年11月22日以前に着工

## 対象者

建物の所有者または居住者(予定を含む)

※ 京都市内の事業者が、施工するもの

## 申請期間

2026年4月13日(月) から 2026年12月25日(金) まで

完了報告は

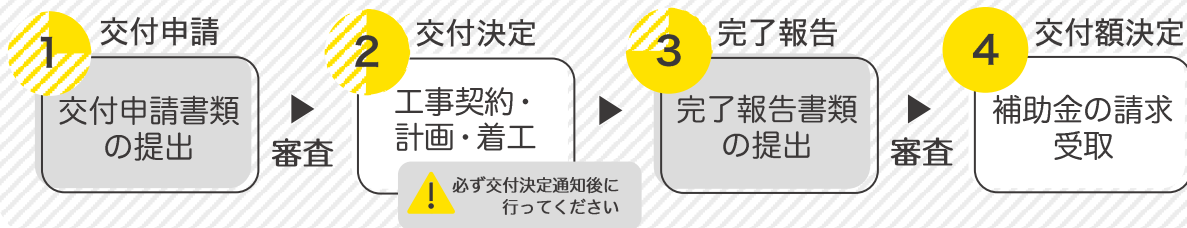
2027年

3月1日まで

## 申請方法

京安心すまいセンターへ必要書類を持参または郵送

- 詳細は、京都市HPや京安心すまいセンターで配架の「申請の手引」をご覧ください
- すでに工事契約または着工している建物は補助対象外です



## 問合せ・申請先



電話 075-744-1631

開館時間 午前9時30分～午後5時

FAX 075-744-1637

休館日 水曜・祝日・第3火曜  
及び年末年始(12/29～1/4)

所在地 〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1  
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階

バス 市バス 4・7・205号系統  
「河原町正面」下車

電車 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分  
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分



京安心すまいセンターでは補助金の受付だけでなく、  
専門知識を持つ団体を紹介するなど、耐震改修工事等  
のご相談も受けています。お気軽にご連絡ください!



制度の詳細は

京都市 まちの匠 Q で検索!

## あわせて利用できる制度があります!

すまいの

# 耐震 無料 相談会

耐震に関するお悩みを無料で建築の専門家に  
相談できます! 詳細 ▶ 京都市 耐震 相談会 Q



「まちの匠・ぷらす」とあわせて

最大 **500** 万円

## 京都安心すまい応援金

未就学の子どもがいる世帯が  
既存住宅を購入してリフォームし、  
居住された場合に応援金を  
最大200万円を交付します!

詳細 ▶ 京都安心すまい応援金 Q